

令和4年度 休日急患診療所利用状況

資料2

1 令和4年度の受診者数 2, 171人・・・別紙1

年度	総患者数	土曜日平均	祝・日曜日平均	救急搬入数
令和4年度	2, 171人	6人	26人	17人
令和3年度	2, 091人	7人	24人	15人
令和2年度	1, 770人	6人	21人	16人

2 診療情報提供書(紹介状)記入件数

年度	総患者数	紹介状総数	二次救急施設への紹介状数	市内病院への紹介状数
令和4年度	2, 171人	159人	91人	43人
令和3年度	2, 091人	200人	128人	54人
令和2年度	1, 770人	167人	103人	41人

3 各科特記事項

4月	利用者総数128人 前年度より3.2%増加
内科	・急性虫垂炎で受診された患者は腹痛・発汗著明・腹部緊満も強く、診察の結果、直ちに二次救急施設へと救急車で搬送された。
外科	・打撲・捻挫が19人、骨折・脱臼が8人、創傷が7人で、併せて外科受診患者の63%を占めた。
小児科	・急性上気道炎・急性咽頭炎の受診が多かった。
5月	利用者総数241人 前年度より10.5%増加
内科	・80歳代の高齢者が農作業中に倒れ、熱中症で救急搬入されてきた。
外科	・連休中に外科には74人が受診し、昨年度より2.6倍の増加であった。また、外科受診の小児のうち1～4歳児の患児の受診が目立った。
小児科	・マラソン大会関連としては一般受診で右膝打撲患者1人のみが受診された。 ・県外者で連休を利用し来県し、子供が発熱した事例1件とアナフィラキシーで受診した事例1件があった。2件とも大野市内でキャンプ中であった。 ・急性上気道炎・急性胃腸炎が目立った。加えて、手足口病の診断を受けた患児が7人いた
6月	利用者総数110人 前年度より35.7%減少
内科	・6月中旬の気温上昇に伴い、熱中症患者の受診が増え、脱水に対して点滴療法を行った患者が多かった。また、熱中症にて自ら救急搬送を依頼したが、一般受診へと切り替わった事例が2件あった。
外科	・全受診者数の半数が外科受診患者であり、昨年度より約15%増加した。創傷、打撲等の疾患に加え、ダニを含む虫刺症患者が目立ち始めた。

小児科	<ul style="list-style-type: none"> 受診者のほとんどが発熱を伴った上気道炎であったが、部活動後に熱中症症状が出現し受診となった事例もあった。
7月	利用者総数183人 前年度より33.7%減少
内科	<ul style="list-style-type: none"> 80歳代男性腹痛にて受診、すぐに二次救急施設に救急搬送され、急性突発性腹膜炎、S状結腸憩室穿孔にて緊急手術、人工肛門造設となった。
外科	<ul style="list-style-type: none"> 蜂刺傷が30人で外科受診患者の1/3を占めていた。特に重症患者はアナフィラキシーショック症状が出現しており、2次救急病院へと搬送された。その内1人は特に重篤で救急救命処置がなされた後に、医師同伴のもとで2次救急施設へ救急搬送された。 庭仕事中に転落して頭部、左側面打撲にて自車で来所されたが、重症と判断され、直ぐに三次救急病院へ搬送された。結果、外傷性くも膜下出血・脳挫傷・多発骨折・肺挫創との診断で返信が届いた。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> 小児科受診者数は昨年度と比較し約52%減少した。当該月の受診者総数の減少の一因である。また、受診者数50人のうち13人(26%)を勝山市民が占めていた。
8月	利用者総数184人 前年度より12.8%減少
内科	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症患者は4名にとどまったが、70歳以上の高齢者の受診が多く、中には腹痛で受診イレウスと診断され2次救急病院に紹介の結果、S状結腸憩室穿孔で即日緊急手術になった患者もいた。
外科	<ul style="list-style-type: none"> 患者総数の約半数が外科受診者であり、外傷及び蜂刺傷が依然多い傾向が続いた。蜂刺傷に関してはアナフィラキシーショックの救命処置後に、2次救急病院への搬送も続いている。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> 発熱外来利用患者は内科よりも小児科の患者が目立ち、上気道炎および咽頭炎と診断された。 コロナ陽性で蕁麻疹が出現した1歳児の診察依頼がかかりつけ医からあった。小児科担当医が防護を整え車まで出向いて診察し、投薬を行った。
9月	利用者総数141人 前年度より17.1%減少
内科	<ul style="list-style-type: none"> 施設入所中の認知症の高齢女性が、枕の中身(ペレット)の異食行為にて腹痛・嘔吐が出現して受診。イレウスの可能性があり2次救急病院に紹介となった。
外科	<ul style="list-style-type: none"> 稲刈りなどの農作業中の事故による創傷が23人と外科の半数近くを占めた。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> 1歳未満児のRSウイルス感染症罹患児の重症事例の受診があり、2件は2次救急病院へ紹介となった。この他にも気管支肺炎にて重症化した1歳児も2次救急病院へ紹介となった。
10月	利用者総数144人 前年度より4.3%増加
内科	<ul style="list-style-type: none"> 70歳以上の高齢者の受診割合が減少したが、低血糖発作や腸閉塞など2次救急病院に紹介しなければならない重症患者もいた。

外科	<ul style="list-style-type: none"> ・外科受診者は減少傾向にはあるが、農作業による創傷が目立ち、骨折患者も10人と比較的多かった。 ・芋洗い機に指が巻き込まれ第1関節から切断となった患者が受診し、切断された指の状態も悪く、切断面も汚染がひどいため、断端処理のため救急搬送された。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児の上気道炎・咽頭炎による発熱外来受診者が目立った。
11月	利用者総数136人 前年度より14.5%減少
内科	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所中で精神疾患を有している患者が水中毒発作を起こして受診されたが、かかりつけ精神科の受け入れ困難、勝山病院・済生会病院からも入院を断られた。応急処置及び経過観察後、施設に戻り翌日かかりつけ精神科病院に入院となった。
外科	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で椅子から転落し腰部痛を訴え外科に救急搬入された高齢女性が、腰部には緊急性の外傷はないとのことで、タクシーで帰宅した。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> ・受診者数は全体の3割で減少傾向ではあるが、受診者数のほとんどが発熱外来の対象者であった。コロナ陽性の既往がある患児も数名いた。
12月	利用者総数112人 前年度より36.4%減少
内科	<ul style="list-style-type: none"> ・内科系疾患で受診の半数は呼吸器疾患で上気道炎・気管支炎が主であった。次に約3割が消化器疾患で下痢・嘔吐を伴う胃腸炎が占めた。
外科	<ul style="list-style-type: none"> ・外科疾患の約1/4が創傷で、同じく1/4が打撲・捻挫が占めた。冬季に入り熱傷も増加傾向にあった。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科の受診者数は3割未満で、勝山市からの受診も少なかった。発熱外来の受診者は小児科の上気道炎による発熱が多かった。
1月	利用者総数198人 前年度より13.5%減少
内科	<ul style="list-style-type: none"> ・嘔吐・下痢を伴う感染性胃腸炎患者の受診が多かった。家庭内感染が目立った。
外科	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患を合併した患者が自傷行為で窓ガラスを破損させ、裂傷及び打撲で受診した。積極的治療は困難で骨折の有無とガラス混入の有無のみ精査した。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザA型陽性者26人中、19人が小児科の患児であった。 ・保育園等で流行しているとのことで、アデノウイルス陽性者が2人、感染性胃腸炎の患児も多かった。
2月	利用者総数394人 前年度より346%増加
内科	<ul style="list-style-type: none"> ・救急搬入者2件はいずれも軽症で診察後は独歩で帰宅した。
外科	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は9.1%にとどまった。創傷・打撲・捻挫・骨折による受診であった。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の60.4%を小児科が占めた。ほとんどはインフルエンザ検査希望で陽性率も高かった。勝山市民のインフルエンザ検査目的での受診も目立った。

3月	利用者総数200人 前年度より190%増加
内科	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザによる発熱以外に感染性胃腸炎の受診が目立った。 10代女性が発熱で受診し、迅速検査の結果、インフルエンザB型と診断された。
外科	<ul style="list-style-type: none"> 勝山市内のスキー場でスノーボードをしていた県外男性が転倒し受診。左脛骨・腓骨骨折と診断され、シーネ固定後、地元の病院に紹介となった。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ検査希望の受診が続く。姉と母親の陽性が確認されている5か月の乳児も陽性判定が出た。

4 感染症専用棟(発熱外来)で診察した患者数 955人

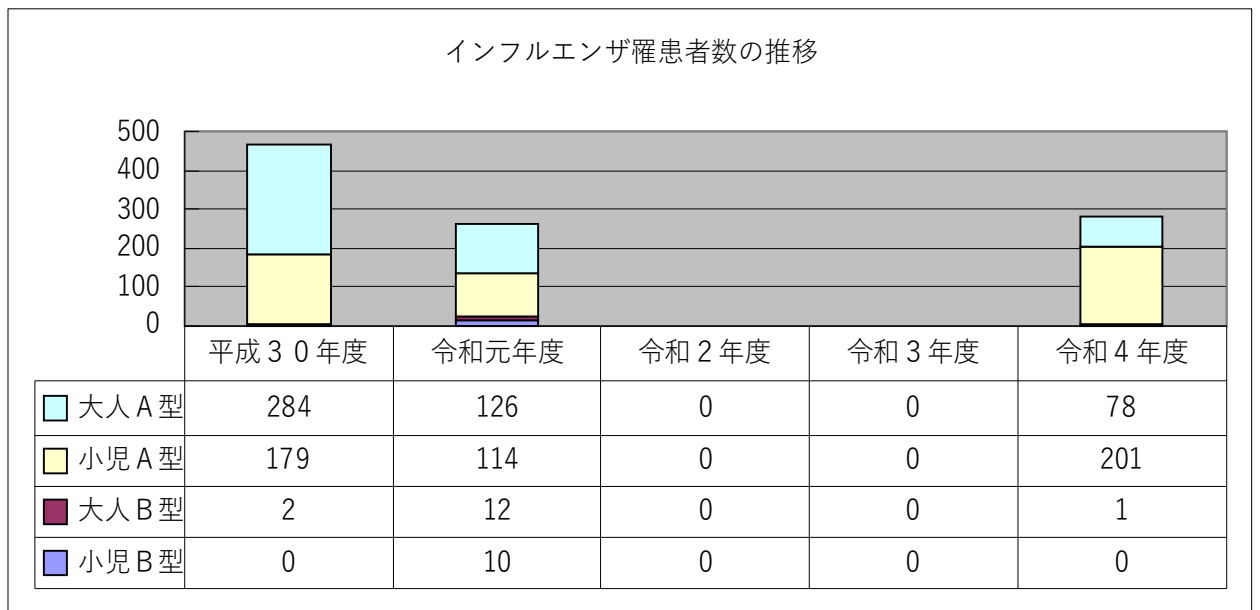
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
40人	70人	23人	53人	52人	50人	54人	46人	38人	81人	321人	127人

5 インフルエンザ感染症の発生状況 280人

	内科	小児科	合計
インフルエンザA型	78人	201人	279人
インフルエンザB型	1人	0人	1人
合計	79人	201人	280人

インフルエンザ感染症罹患者数の推移

年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
罹患者総数	465人	262人	0人	0人	280人



令和4年度 休日急患診療所利用状況

単位:人

診療月	土曜日		休日		合計		科 目			性別		救急車			転 送			地 域 別				年 齢 別			1日当平均受診者数	
	回	人数	回	人数	回	人数	内科	外科	小児科	男	女	搬入数	2次	3次	他	市内	県内	勝山	県外	～15	16～69	70～	土曜	休日		
	令和4年																									
4	5	31	5	97	10	128	40	54	34	75	53	0	2	0	0	101	5	19	3	55	59	14	6.2	19.4		
5	4	25	8	216	12	241	66	105	70	132	109	4	2	0	0	196	10	17	18	109	82	50	6.3	27.0		
6	4	26	4	84	8	110	27	55	28	55	55	1	0	0	0	87	7	11	5	51	39	20	6.5	21.0		
7	5	32	6	151	11	183	49	84	50	95	88	4	2	1	0	151	12	18	2	65	79	39	6.4	25.2		
8	4	30	7	154	11	184	53	88	43	100	84	4	5	0	0	153	11	14	6	63	75	46	7.5	22.0		
9	4	12	6	129	10	141	42	55	44	81	60	1	1	0	0	113	3	23	2	57	50	34	3.0	21.5		
10	5	27	6	117	11	144	42	54	48	73	71	0	1	0	0	116	9	18	1	62	50	32	5.4	19.5		
11	4	27	6	109	10	136	38	58	40	69	67	1	0	0	0	119	2	15	0	53	54	29	6.8	18.2		
12	4	23	5	89	9	112	37	43	32	63	49	0	0	0	0	96	6	8	2	39	44	29	5.8	17.8		
令和5年																										
1	4	19	8	179	12	198	67	60	71	86	112	0	0	0	0	153	15	19	11	91	77	30	4.8	22.4		
2	3	31	6	363	9	394	120	36	238	204	190	2	1	0	0	289	6	93	6	249	118	27	10.3	60.5		
3	4	34	5	166	9	200	74	41	85	92	108	0	0	0	0	153	7	37	3	89	89	22	8.5	33.2		
合 計	50	317	72	1,854	122	2,171	655	733	783	1,125	1,046	17	14	1	0	1,727	93	292	59	983	816	372	6.3	25.8		

<参考>

診療月	土曜日		休日		合計		科 目			性別		救急車			転 送			地 域 別				年 齢 別			1日当平均受診者数	
	回	人数	回	人数	回	人数	内科	外科	小児科	男	女	搬入数	2次	3次	他	市内	県内	勝山	県外	0～15	16～69	70～	土曜	休日		
30年度	50	505	74	3,521	124	4,026	1,688	915	1,423	1,970	2,056	40	30	5	3,280	189	397	160	1,637	1,813	576	11	48			
31年度	50	514	77	3,498	127	4,012	1,561	889	1,562	2,031	1,991	42	34	4	0	3,225	175	438	174	1,800	1,652	560	10	44		
令和2年度	50	291	70	1,479	120	1,770	576	745	449	888	882	16	14	0	1	1,489	67	173	41	650	734	386	6	21		
令和3年度	51	361	71	1,730	122	2,091	622	782	687	1,067	1,024	15	23	2	0	1,757	88	197	49	895	796	400	7	24		
令和4年度	50	317	72	1,854	122	2,171	655	733	783	1,125	1,046	17	14	1	0	1,727	93	292	59	983	816	372	6	26		